

萬運輸

デザイン車両稼働

モンテディオ山形を応援

【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は9月28日、同社が公式スポンサーとなつている、山形県がホームタウンのプロサッカーチーム「モンテディオ山形」のデザイントラックの納車式を本社で行った。庄内営業所（山形県鶴岡市）に配備し、地

元チームを応援することで地域密着をアピールするとともに求人効果も狙う。

納車されたのは「日野レシジャー」の寒冷地仕様車で、車体両側にモンテディオ山形のロゴやキャラクターがデザインされている。自社工場の「オートポディプリンター」を使用して加工。10月から庄内営業所で稼働し、東北各県でアイスクリームの店舗配送業務を行う。

萬運輸は、自社主催のデザイントラックコンテスト

にモンテディオ山形がチームとしてデザインを応募してきたのをきっかけに、スポンサー契約を結んだ。地域密着企業をアピールするほか、地元の人気チームのデザイントラックを運行することによる求人効果も期待している。

モンテディオ山形のデザイントラックは2台目だが、スポンサー契約後は初めて。10月には大型ウィング車もモンテディオ山形のデザインにする予定。

同社は積極的にデザイン



トラックを導入しており、神奈川エリアでは横浜市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」の

モンテディオ山形のロゴやキャラクターをデザインした車両と萬運輸の幹部ら

デザイントラックも運行している。28日に本社の課

長級以上の幹部を集めて開催した納車式で、東海林社長は「デザイントラックは安全運転を継続しているドライパーしか乗務できない。『デザ

イントラック』安全ドライバーの証し』であり、今後増やしていきたい」と述べた。（吉田英行）